



心豊かでたくましく自ら学び続ける青木っ子

青木の風



令和7年7月8日 青木小学校だより NO.5

～児童の活動を中心とした日々の学校の様子は、学校ホームページに掲載しています～

夏休みの意味

7月に入り、連日の暑さが体にこたえる日が続いています。お子さんの健康、安全に気をつけながら教育活動を充実させていきたいと思ひます。

さて、7月22日から夏休みが始まりますが、そもそも夏休みはなんのためにあるのか調べてみたところ、「夏休みは心身を休め、普段とは異なる経験をするための期間」とあり、大きくは3つの目的があると考えられます。

1点目は「暑さの回避」です。エアコンが整備されたとはいえ、猛暑の中登下校し、終日学習活動を行うのは、子どもたちにとって負担の大きいことです。

2点目は「心身の休養」です。学習習慣、生活ルール、人間関係など、学校で育む大事なことはたくさんありますが、そこから離れ、心と体をゆっくりと休めることも必要です。心身ともにリフレッシュすることで、次への意欲に結びつきます。

3点目は「体験や探究」です。学校生活では経験できない生活や活動をすることです。夏休みは、子ども一人一人が、自分でやろうと思ったことにチャレンジできる貴重なチャンスです。好きなことや夢中になるものがすでにある子は、この夏休みは探究の力をつけるための絶好の機会となるでしょう。子どもも大人も、好きなことや興味のあるものは言われなくても主体的に取り組めます。「時間を気にせず、とことんやる」

日があってもよいと思うのです。一方、好きなものや夢中になることがまだ見つからない子は、何をどう探究すればいいのでしょうか。まずは、知っていることの範囲を広げ、とにかくやってみる事です。虫取り、水泳、工作、読書、観察、ピアノ、ダンス、料理など、何でも構いません。子どもが自分の「好き」をたくさん見つけられるように、家庭や地域など身近にある好奇心の種を見逃さず、子どもの「なぜだろう」を一緒に楽しむことが大切だと思ひます。

こうした考えから、夏休みは、学校から一律の宿題を出すことを控えます。学校では、各学年の「夏休みのしおり」をもとに、どのように夏休みを過ごしたいか、ということを一一人一人が考え、計画を立てる時間を設けます。また、自由研究のヒントやコンクールへの応募等の資料も用意します。ご家庭で夏休みのしおりを参考にしただき、夏休みをどのように過ごすか、お子さんと話し合ってください。

お子さんが自ら取り組む姿や努力の過程を大いに認め、励ましていただきますようお願いします。

